

第4回各務原市特別支援学校建設基本構想・基本計画策定委員会 議事概要

日 時 令和2年10月5日（月）午後1時30分より
 場 所 各務原市役所 産業文化センター2階第3会議室
 出席委員 出口和宏委員長、松村齋副委員長、田代真理子委員、安田ゆかり委員、
 加藤英優委員、関エリコ委員、大谷弘委員、安田寿之委員、
 木全かおり委員、兒玉哲也委員
 欠席委員 なし

1. 委員長挨拶

2. 議事

①施設の機能・規模

②整備候補地の選定

議事録（要旨）

主な意見及び質疑応答	
委員長	前回の会議では、整備エリアが決まった。また、機能と規模の話を事務局から説明し、羽島特別支援学校と比較して説明するということになった。また、前回の会議で大谷委員から提案があった「羽島特別支援学校を視察する」という件と「福祉の里で各務原市の障がい児支援に長く携わってみえる安田先生からご意見を頂く」という件について、それぞれ視察の報告と安田先生から意見を伺って、機能・規模の議論の参考にしたいと思う。

議事 ①施設の機能・規模

資料1 各務原市特別支援学校整備基本構想・基本計画（素案）

兒玉委員は、ご都合により、議事①はご欠席された。

事務局説明	
・基本構想・基本計画（素案）について説明した。 ・羽島特別支援学校の視察結果の報告を行った。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	視察を行った委員に感想を伺いたい。
委員	羽島特別支援学校は新しく立派であると思う。玄関が広いことやスクールバスのロータリーに屋根があること、喫茶用の玄関があること、体育館が大きいことはとても良いと思う。教室については、非常食や教材などを置ける収納スペースを確保することが良いと思う。教室の数は、あ

	る程度余裕をもって整備すると良いと思う。スクールバスのロータリーの屋根は高く感じたので、丁度良い高さにすると良いと思う。
委員	就労支援を行っている立場から、向いていない職種と向いている職種に着目して、機能や規模に関する意見を述べようと思う。現代においてミシンを使う職種は少ないため、家庭科室のミシンは多くの数は必要ないかと思う。「食べる」という行為は、人々との交流につながるため、調理室は必須であると思う。オンライン設備やパソコンなどは使いこなせるのか疑問であり、多くの数が必要なのか疑問に思う。知的障がいのある児童には、フェイストゥフェイスのコミュニケーションがより重要であると思う。介護関係は就業しても定着が少なく、向いていない職種であると思う。向いている職種は工場作業や清掃などだと思う。今後期待される職種は、農業だと思う。農業は種まきから収穫まで、やりやすく、自然と触れ合えるため、体にも精神にもとても良いものであると思う。国の施策でも農福連携が進められている。障がい者芸術にも注目している。音楽室は小～高まで使え、ゆったりとした空間が良いと思う。欲しい部屋は、スヌーズレンルームや図書館である。理科室は小さくて良いと思う。地域支援室や卒業生が立ち寄れる空間は、拡張すると良いと思う。啓発活動室は心のバリアフリーの柱になると思う。
委員	羽島特別支援学校は新しくて機能的で良いと思う。各務原特別支援学校は木や緑に包まれた学校で、友達と触れ合える場が整備されていると思うので、緑が多くあるように整備すると良いと思う。羽島特別支援学校では、中庭は使われていなかったもので、使えるようにすると良いと思う。病弱な方も運動ができる機会や友達と触れ合えるよう整備すると良いと思う。アレンジ可能な部屋をつくと良いと思う。たくさんの収納スペースは検討して欲しいと思う。
委員長	次に、施設の機能や規模について、委員一人ずつ意見を伺う前に、前回大谷委員から提案のあった意見聴取として、各務原市社会福祉事業団 事業課長 言語聴覚士 安田香実さんから意見を伺いたい。
安田氏	支援を必要とする子供たちの増加と多様化に伴い、支援内容に専門性が求められるのが現状である。子供の死亡数は減少しているが、一方で、重症心身障がい児ではない「動ける医療的ケア児」は増加している。「動ける医療的ケア児」とは身体障がいがなく、歩けて話せるが、日常的に医療的ケアが必要な子どもでもある。在宅医療が進む一方で、地域での受け入れ体制が追い付いておらず、支援の狭間になっていたり、就園、就

	学においても受け入れに大きな壁があったりするのが現状である。支援の狭間になっている動ける医療的ケア児の受け入れは進めると良いと思う。また、多様な摂食障がいを持つ子どもにも対応する必要がある。外部のセンター給食は多様な摂食障がいに対応することが難しいため、より個別対応が可能な給食室は必要であると思う。また、学齢期の運動障がいを専門に支援するスタッフを特別支援学校に配属すると良いと思う。羽島特別支援学校にあるような室内プールは体温調節の難しい子どもにとって、良いものだと思う。
委員長	次に、委員一人ずつに施設の機能や規模について、意見を伺いたい。
委員	教室の収納は大きいと良いと思う。教室の数は、児童数の増加などを考慮して数に余裕があると良いと思う。非常勤や外部の人に対しても配慮は必要であると思う。
委員	教育課程の充実が重要であると思う。
委員	多様な意見を取り入れると良いと思う。長い目で見て使いこなせるように整備するのが良いと思う。予算を考慮することも重要であると思う。
委員	小中学部に対しては、体育館のように大きな空間ではなくて良いので、近くに集会で使える多目的な空間があると良いと思う。高等部に対しては、柔軟に使える多目的な作業場があると良いと思う。体育館は、1階に限定せず、2階でも良いと思う。
委員	教室の大きさは規格に拘らず柔軟に、多目的に使える空間を整備していくのが良いと思う。
委員	みなさんにとって良いものができれば良いと思う。
委員	福祉避難所としての機能を持つように整備すると良いと思う。そのために、オストメイト対応トイレなどは、必須であると思う。
副委員長	各務原市としてどのような特別支援学校を整備したいのか明確にすることが重要であると思う。教育課程を明確にすることが重要であると思う。

議事 ②整備候補地の選定について

資料2 新設特別支援学校 区域図

資料3 施設配置方針

兒玉委員は、ご都合により、議事②よりご出席された。

事務局説明	
・区域図と施設配置方針の説明を行った。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	施設の配置については、場所が決まった後で細かく議論したい。この配置図案はイメージということで、まずは場所を決めたいが、何か意見はあるか。
委員	与えられた条件の中では、相応しい場所であると思うので、賛成で良いと思う。
委員	場所については良いと思う。近隣住民から整備に対して理解を得られない場合もあるので、近隣の住宅から6m離れているのは良いと思う。グラウンドの砂埃が問題になりうるが、面しているのが田畑なら問題ないと思う。西にある一軒の住宅については、気になる部分ではある。
委員長	それでは、整備候補地については、説明にあったこの場所に決定でよろしいか。
委員	(異議なし)
委員長	委員会の意見として、この場所を整備候補地に決定する。本委員会では教育委員会から諮問を受けており、最終的には基本構想・基本計画について答申を行う予定だが、事業を進めてもらうため、決定した候補地について教育委員会に中間答申をしたいと思う。中間答申を行うことと、その中間答申書の作成については、委員長に一任してよろしいか。
委員	(異議なし)
委員長	引き続き、配置図案について、質問や意見を伺いたい。
委員	普通教室は日当たりのよい南向きにするという説明があったが、医療ケアの必要な生徒等は日当たりが良い教室のほうに向いているのかどうか伺いたい。
事務局	教室は日当たりの良いところにあることが多いが、確認する。

委員	県立の特別支援学校の場合、医療的ケアの必要な生徒等の教室は南側の1階、保健室や職員室の近くですぐに緊急対応できるような場所に配置していることが多い。南側だと暑くならないかという心配だと思うが、逆に、冬の寒さが体温が上がらない子どもに対して問題になることがあるため、できれば南側の方が良いと思われる。そういった生徒の教室には床暖房などの整備を考慮すると良いと思う。
委員	部屋が広いので、窓際は避けることができるし、遮光カーテン等で対応すれば、日当たりについては問題ないと思う。
委員長	以上で、本日予定していた議事は終了とする。事務局には今回の議事の意見を施設機能・規模に反映していただきたい。

3. その他

（事務局）次回については、11月9日の月曜日に、本日と同じ13時30分からこの場所で開催する。また、羽島特別支援学校や関特別支援学校等、現場で働いている教員の方々からソフト面のご意見を伺う会を別途設ける予定をしている。その会でいただいた意見をこの委員会でも紹介しながら進めていきたいと思う。